

印西市民の全ての世代と共に！



稲葉たけし通信

稲葉たけし後援会 会報

発行/『稲葉たけし』後援会事務所 〒270-1327 印西市大森3528-3
電話:0476-42-2376 FAX:047-413-0329 E-mail:inaba@simin-inzai.com
HP:<https://inabatakeshi.com> ブログ:<http://ameblo.jp/inabainzai/>
Facebook:<https://www.facebook.com/inabatakeshi.inazai/>

No. 77



人口が11万人に

令和5年1月6日に人口が11万人に到達しました。

市によると、平成4年に当時の印西町が人口5万人に到達。平成8年に市制施行し、平成22年3月に印旛村、本埜村と合併した後、同年9月に9万人、平成30年5月に10万人に到達しました。市の総合計画では令和9年に11万人に到達すると推計されていますのでそれをはるかに上回る増加率でした。

これは私の持論ですが、千葉ニュータウン地区はURが土地の開発を担ったのですが平成26年に開発事業が終了後に業者が住宅を建ててそして地盤の固い土地にデータセンターがまだまだ進出してくるのでまだまだ人口増加は続くと考えています。

人口が急に増加しているので今様々な問題が出て来ています。今後はその対応が急務と考えています。

例えば

- (1) 教育環境の問題。
- (2) 上下水道の環境整備問題
- (3) 公共交通の充実

等様々な課題があります。皆さんからのご意見も伺わせて頂ければと考えています。

今年は選挙の年です。

今年は統一地方選挙が行われる予定となっています。

千葉県議会選挙は4月9日 印西市議会選挙は4月23日をそれぞれ行われる見通しです。

この8年間の取組について(1)

まる8年印西市議会議員として活動して来ました。今回は8年間の取組を報告させて頂きます。

(1) 市民の意見を反映する街づくり

「取組んだ事」
いろいろな課題について市民の方と勉強会を実施、又は参加して市内の状況の把握したり、市の行政について説明させて頂き、そこで出て来た課題等を市職員と話したり一般質問のテーマとさせて頂きました。
また「稲葉たけし通信」の発行やSNSにおいて活動報告や活動報告を行って頂きました。

(2) 安心安全な街づくり

「取組んだ事」
各自自治体での防犯カメラ設置への補助金がつくようになりました。また市街地での車の走行速度30キロ規制の速度測定を実施。

(3) 誇りの持てる街づくり
「取組んだ事」

芸術分化の発展や発表の場づくりとして昨年「印西まちなか音楽祭」が行われました。これは市職員さんへ議員になってから懇願していたものでした。周辺の商業施設や公園などに10か所のステージを設け、57団体約300人以上の出演者がさまざまなジャンルの音楽を演奏しました。会場には延べ約1万2千人の来場者が訪れ、大盛況のうちに終了しました。これは一回きりの開催でなく今年も開催して頂く予定です。

(4) 子育てを応援する街づくり
「取組んだ事」

現在印西市は子育て支援事業が県下有数の事業数となっています。
(5) お年寄りに明るい街づくり
「孤独死ゼロ」対策を訴えてきました。

(6) 介護にやさしい街づくり
「取組んだ事」

老々介護、認知介護、wケア問題を訴えてきました。また施設職員の処遇改善についても

(7) 環境問題

「取組んだ事」
SDGsへの取組特に市のカーボンニュートラル宣言について強く訴えてきました。(近じか宣言か?)

<個人一般質問にて(2)> (Q:稲葉からの質問 A:市からの答弁)

令和4年第4回定例会での一般質問の内容を報告します。

1 カーボンニュートラル宣言に向けて

Q:市の環境基本計画では、カーボンニュートラルの市の取組みとして、公共施設における再生可能エネルギー発電設備の導入や再生可能エネルギー由来の電力利用、また、環境性能に優れた公用車の導入などを掲げている。庁内の各関係部署が連携して、全庁的に取り組んでいく必要があると考えるがどうか。

A:議員ご指摘のとおり、庁内の各部署が連携を図っていくことが重要であると考えていることから、令和5年1月に、庁内実務担当者を対象とした勉強会の開催を検討している。引き続き、カーボンニュートラルの実現に向け、進めると考えている。

Q:市内のそれぞれの企業がカーボンニュートラルの実現に向けた取組みを行っており、また、市民活動団体も地球温暖化防止の啓発活動を行っているとのこと。私は以前から、市がゼロカーボンシティ宣言して、市のスタンスを表明し、市が先導していったらどうかと、申し上げてきた。庁舎内の統一した認識を行ってそして市内の企業や団体についても活動を認識しているとの回答が頂けました。宣言は時間の問題と考えるがその前に、ゼロカーボンシティ宣言についてはいくつかの表明方法があると思うが、どのような方法があるのか。

A:環境省が、ゼロカーボンシティの表明方法の例としているものとして、「定例記者会見やイベント等において市長が宣言を表明」、「議会で市長が宣言を表明」、「報道機関へのプレスリリースで市長が宣言を表明」、「自治体ホームページにおいて宣言を表明」がある。

※稲葉の所感

約3年前から印西市のカーボンニュートラル宣言について市内の環境問題を検討する方々と市へ訴えて来ました。最初はまだ印西市は人口が増えてきて企業もどんどん進出してくるからとの理由で全然受取ってくれなかったが進出してくる企業も環境問題への取組を行っている事やSDGsについて取組んでいる企業である事、や市内では、宣言している近隣市よりも補助金等も行っている事等。市職員の勉強会を実施して認識を持つように求めやっところまで来た感があります。

あと少しで宣言してくれるかな?と感じています。

編集後記:大寒となり日本中が大雪で各交通機関が大変な事になっていました。幸いな事に千葉県は少し雪が積もった程度で大きな被害が出ていなかった事で良かったと思います。

子供の頃は雪が降っているのを窓から気づくと妙にワクワクして朝、新雪に足跡を付けたくて早く起きて長靴で外を歩いたものでした。今は猫より丸くなっていますが(笑)。

今週は文教福祉常任委員長の役で六合小学校の創立150周年記念式典に行ってきました。木下小や大森小も近々150周年になるようです。

稲葉 たけし

『稲葉たけし通信』は2015年5月7日の創刊号より現在77号となりました。不定期で発行していますが、1ヶ月前はと1ヶ月に1刊よりは超えている計算になっていました。各ご家庭にお届けしていますがなかなか毎号をお届けできないで状況です。『稲葉たけし通信』のバックナンバーをホームページよりダウンロードできるようにしています。ご興味ある方は、下記のアドレスからダウンロード頂ければ幸いです。
<https://inabatakeshi.com/inabamedia/>
またスマートフォンの方は右記のQRコードを
読み取ってサイトより参照してください。

市民相談を再開しました

皆様のご提言、ご指導、ご要望等をお受しています。

まずは下記へご連絡をお気軽にどうぞ!!

連絡先:稲葉たけし後援会事務所

住所:〒270-1327

印西市大森3528番地3

電話:0476-42-2376

メール:inaba@simin-inzai.com

コロナ対策としてオンラインでも受付しております。

(zoom,skype等)